

妊娠経過中には出血する事があります

出血の原因はいくつかあります

- ① 流産の兆候：少量の出血のみで、正常に妊娠が継続する場合も多くあります。流産が進行する場合は腹痛を伴い出血が多くなります。
- ② 子宮内部からではなく、子宮頸部のびらんやポリープからの出血
- ③ 胎状奇胎などの異常妊娠による出血
- ④ 異所性妊娠（いわゆる子宮外妊娠）：エコーで胎嚢が子宮内に確認されている方であればこの可能性は殆どありません。

出血した時の対処

- ① その日は安静にしてください。ご入浴は控えてください。急いで受診するよりも安静を保つことが大切です。この時期の対応としては安静をとるしかないのが現状です。
- ② 出血が生理の2日目位の場合や、症状についてご心配な方は、ご予約の上、早めに受診してください。

流産について

流産の確率は2割程度です。

自然流産の原因の6～8割は染色体異常とされています。

自然流産する時は、腹痛があって出血が多くなり、小さな卵くらいの塊が出ます。その後出血は少なくなり、痛みも軽くなっていきます。その場合可能であれば、その小さな塊をそっとラップなどに包み冷所で保管して頂き、受診時に持ってきください。